

がんばってます！
まちのもののづくり企業



皿うどん製造ライン。厳選した小麦を使用し、良質な油で揚げた自慢の麺。地球環境に優しい、廃油を出さないシステムを業界で初めて導入しています。

めん
麺類を1日に40万食製造
(株) 狩野ジャパン

市内には、高い技術や特殊技能で「ものづくり」に励む地元企業があります。今回から始まるこのシリーズでは、市内でがんばる元気な企業を紹介します。(隔月掲載)

長

崎名物といえは「ちゃんぽん、皿うどん」。豊かな歴史が生み出した庶民の味として全国的にも高い知名度を誇ります。そんなちゃんぽん、皿うどんをはじめとして、ラーメン、パスタなどの麺類を製造・販売しているのが、(株)狩野ジャパンです。1日に皿うどん20万食、その他麺類20万食を製造しています。

狩野ジャパンは平成4年に狩野食品販売(株)として創業。交通アクセスや環境面などで条件がそろっている現在に工場を建設し、10年目を機に今の社名に変更しました。現在、従業員は80人。全従業員の7割が女性で、毎年新卒者を5、6人採用しています。同社では社員健康管理のため、毎日一人ひとり体温を測り健康状態をチェックしており、また「食養課」と名付けられた社員食堂は、なんと無料で食べ放題。「毎日元気にがんばってもらいたいから」と狩野善治社長は話します。

全国ネットのテレビ番組にも取り上げられヒット商品になったのが、社員の発案で生まれた「ちゃんぽん饅頭」。ちゃんぽんを饅頭へ詰め込んだ商品で、生地にスープを練り込み、中の具材にはちゃんぽん麺をはじめとして、エビ、豚肉、キャベツなど約10種類の具材をスープで煮込み、丸ごと包んであります。

また同社では、スポーツクリニックの開催やムコ多糖症への支援、大村湾浄化など、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。これは「利益だけ求めるのではなく、みんなで分け合うことが大切」という思いからです。

狩野社長は、「長崎は生まれ育った故郷だから愛着がある。『長崎はちゃんぽん、皿うどんのまち』というイメージを全国にもっと広めていきたい。大村は自然に恵まれた素晴らしいまち。多くの方に支えられて会社もこまできた。皆さんに感謝しながら、人・もの・心を次の世代に引き継いでいきたい」と話されました。

社員さんからひとこと



福重景子さんは平成15年入社。地元で事務の仕事をしたかったのが入社の動機だそうです。「決まった仕事だけではないのでやりがいがあります」と話します。社長も「責任をもって仕事をしてくれるので信頼している」と太鼓判を押していました。



(株) 狩野ジャパン
東大村1丁目2376-6 ☎528090 (代表)
代表取締役 狩野善治氏